ん…
あっ
そこ…好き
ずいぶん慣れて素直になったな
あいつのためか
…ううん

あなたのおかげ
俺？
知らなかったヒュンケルの
一面が知れて
私自身も知らなかった一面を
あなたに見せられるようになった

…おまえが
ドサッ
ん…っ
俺なしでは満足できないようにしたかった
あっ…
あいつより俺を選ぶように
ふぁ…ッ

選ぶ…とかじゃなくて
あなたにもいてほしい
あなたも
ヒュンケルだから

…どうして
俺まで…
いや
だからなのか……